



小暮ひろし市議会報告

新政佐野 小暮博志

〒327-0824 佐野市馬門町1597番地
TEL・FAX 0283-23-8263
E-mail kogurehi@sctv.jp

紙面

市民病院院内保育所開所式(3月25日) 平成22年第1回 佐野市地域密着型サービス運営委員会(4月27日)
小学校・中学校の卒業・入学式に参列 平成22年第2回 6月定例議会(6月4日~6月18日)
政務調査費について

市民病院院内保育所開所式(3月25日)

市民病院及びあそヘルホスに勤務する職員(非常勤含)が安心して働ける環境を目指して、4月1日からオープン。

事業費は40,835千円かかりました。運営は市民病院を運営している医療法人財団 青葉会が行います。

保育内容の概要を次に紹介します。

1. 保育児数 25人以内
2. 保育時間 24時間365日
3. 利用者 市民病院及びあそヘルホスに勤務する職員 生後57日目から小学校3年生まで
4. 利用料金 月額12,000円、時間100円(月16日未満) 給食及びおやつ費用 別途1日300円

なお、佐野市民病院には1月より新しいMR装置が、1億3,440万円かけて導入されました。院長だよりによりますと、これまで出来なかった心臓と血管の安全で楽な検査が実現し、特に検診・ドックで大活躍することです。

22年度佐野市病院事業には、一般会計から4億1,013万円もの補助を出しており、佐野市民病院をおおいに活用しましょう。

中学校・小学校の卒業・入学式に参列

中学校と小学校の卒業式が3月11日と19日に、入学式が4月7日と8日に行われ、地元の学校に来賓として出席しました。

卒業生と新入生を拝見し、大きく成長している様子がかがうことができ、嬉しく思っただいであります。卒業生が、夢と希望を持って今後とも成長を続けることを祈念します。

小学校の卒業式と入学式に、来賓祝辞を述べさせて頂きました。

卒業生には、皆さんは希望の星であり、『思いやりの心を持ち、何事にも一生懸命頑張れる』人になって欲しいとお願いし、祝辞としました。

これからの日本の人口は減り続け、特に20歳未満の人口は大幅に減少し、2030年には約30%も減少すると予測されています。この様に激変する中で力強く生きるためには、独立心のある人を育てる必要があると考えています。

人口の推移と将来予測 ー人口統計資料(2010)ー

年次	総数 (1,000人)	比較 (%)	0~10歳 (1,000人)	比較 (%)
1980	117,060	92	35,779	159
1990	123,611	97	32,493	144
2000	129,926	102	25,961	115
2010	127,126	100	22,542	100
2020	122,735	97	18,180	81
2030	115,224	91	15,502	69
2040	105,695	83	13,560	60

(国立社会保障・人口問題研究所)

政務調査費について

佐野市の市議会議員には、会派に年1人当たり30万円が予算化されています。内訳を見ますと約50%を調査旅費に当てています。新政佐野会派では、調査旅費で青森県弘前市と八戸市に地場産業育成と中心市街地活性化の視察、奈良県桜井市と岐阜県中津川市にゴミ焼却炉の研修に行き報告もしました。

なお、政務調査費は市により異なり、栃木県内の主な市を比較すると下表の如くなっています。

平成21年度 政務調査費

項目	比率(%)
研究研修費	6.0
調査旅費	50.2
資料作成費	4.1
資料購入費	8.0
広報費	18.9
公聴費	0.0
人件費	0.0
事務所費	0.5
その他の経費	0.1
残金	12.2

平成21年度 各市比較

市	年額	住民単価
	(万円/議員)	(円/人)
宇都宮市	144	142
小山市	64	121
足利市	84	151
佐野市	30	68
那須塩原市	24	66
鹿沼市	33.6	91
旧栃木市	33.6	83
真岡市	33	91

平成22年地域密着型サービス運営委員会(4月27日)

4月27日に佐野市地域密着型サービス運営委員会が開催され、今回は地域密着型サービス事業者の指定更新1件、新たな指定6件が審議されました。事業者の指定は1度指定されても、6年毎に更新手続きが必要で、設備や運営状況が書類でチェックされます。

新たに指定された施設は、認知症高齢者のグループホームと小規模多機能型居宅介護の併設施設であり、植下町、栃本町と村上町に造られました『しもつけの杜』、『せせらぎ』と『わが家』です。これらのグループホームの総ベッド数は27床で小規模多機能型居宅介護における総登録定員は47人となっております。この様な施設を利用するためには、介護保険の被保険者であって要介護認定が必要になります。

現在までに、佐野市内の地域密着型サービスは32施設ほど造られてきており、平成23年までにあと4施設が予定されおります。その後の平成24年以降は、新たな整備計画が策定され推進することになっております。なお、施設の整備などにつきましては、いきいき高齢課に相談してください。(電話：20-3021)

*地域密着型サービス運営委員会の構成は、学識経験者(4名)、被保険者(6名)、保健・医療・福祉関係機関・団体(7名)、市長が必要と認める団体(2名)、行政機関(1名)で構成され、小暮ひろしは議員代表(学識経験者)で参加しました。

平成22年6月定例議会(6月4日~6月18日)

平成22年度第2回の議会では、次の様な案件が出され審議等が行われました。

- (1) 議長、副議長の選挙
- (2) 常任委員及び議会運営委員の選任
- (3) 報告事項8件、議案23件の案件
- (4) 一般質問15人
- (5) 陳情4件

次に、内容をご報告します。

(1) 議長、副議長の選挙

正副議長の辞職に伴い、選挙が行われました。

新議長に、新政佐野会派の岩崎俊道氏が、出席議員27票中18票を獲得して選出されました。

新副議長に、大樹会の篠原一世氏が、出席議員27票中15票を獲得して選出されました。

(2) 常任委員及び議会運営委員の選任

次の様に選任されました。(平成22年6月4日就任)

- 総務常任委員会：◎青木栄吉 ○小暮博志
 春山敏明 若田部治彦 山口孝
 鶴見義明 亀田清
- 厚生常任委員会：◎内田清美 ○鈴木靖宏
 蓼沼一弘 荒居聰 岩崎俊道
 山菅直己 高橋功
- 経済文教常任委員会：◎林敬忠 ○本郷淳一
 岡村恵子 篠原一世 金子保利
 寺内富士夫 山越密雄
- 建設常任委員会：◎大川圭吾 ○井川克彦
 藤倉義雄 飯田昌弘 義本美智江
 荒井仁市 笠原敏夫
- 議会運営委員会：◎蓼沼一弘 ○飯田昌弘
 春山敏明 大川圭吾 岡村恵子
 本郷淳一 井川克彦 鈴木靖宏
 笠原敏夫
- ◎委員長 ○副委員長

小暮ひろしは、次の様な職の委員になっております。今後とも責務に励んで参りますので、宜しく願い申し上げます。

- 総務常任委員会の副委員長
 佐野地区広域消防組合議会議員
 環境審議会委員
 国民健康保険運営協議会委員

(3) 報告事項8件、議案23件の案件

案件中、特に学校建築物の耐震補強関係を述べます。

平成22年度の予算により、学校の校舎と体育館耐震指数(1s値)が0.3未満の建物は全て補強改修されることになっています。1s値が0.3に近い校舎2棟と合わせて合計8棟が平成22年度の改修対象です。

しかし、界小学校体育館の場合、溶接補強が不可能と考察され、骨組を建直す約2.1億円の経費を要し改築事業と同程度の費用(約2.2億円)がかかることや、昭和53年新築で32年経過しており耐用年数は8~10年延びる程度とのことにより、改築事業に変更することになりました。

耐震指数(1s値)が0.3未満の建物とは、『震度6強以上』の大規模な地震で『倒壊等の危険性が高い』建

物です。

文部科学省では、学校施設の安全の目安を1s値0.7以上としています。佐野市の学校の校舎や体育館は113棟ほどあり、その内で1s値が0.7以下の建物は平成23年で、26棟(23%)になります。佐野市建築物耐震改修促進計画では、平成27年には10%以下を目標としております。

*** 小暮ひろしの一般質問 ***



(4) 一般質問(雨水溝の整備について)

これから入梅の時期となり雨の多い日が増えてまいります。雨の多い日に、側溝から水があふれ出し、同時に運び込まれたビニール等の色々なゴミが田に流れ込んだことや、米の生産調整が重って、現在、約70アールの田が耕作放棄地となっております。今後、正常な農地に戻したいので、ぜひ、雨水溝の整備をして欲しいという案件であります。

耕作放棄地には、茂呂山町の側溝からの水が国道50号線を通って運んできたゴミが溜まっております。カン、ペットボトル、ビニール等のゴミがあります。(上の写真)

国道50線の側道の側溝からも、同じように田の近くに流れ込んでいます。

2つの側溝から後の雨水溝がまだ整備されていないため、排水が悪く、このような状態を作る原因の一つになっていると思っております。近くに行くと悪臭がし、環境衛生の面からも良くありません。

現在、国道50線から下流の約280mの所まで、幅600mm*深さ600mmのU字溝が設置してあるので、今回は、その間の整備をして欲しいということです。

茂呂山町と国道50号線からの側溝の雨水処理量と、今回の側溝との流量とのアンマッチング量は、茂呂山町の側溝の雨水処理能力を将来どうするかということで、隣の、高萩陸橋の下の側溝の雨水処理量も不足している、との関係も考慮して検討して頂きたいと要望します。

(答弁) 茂呂山町の側溝の雨水処理量を検討した後、考える。また、ゴミ用ネットとゴミの処分は一緒に考えたい。

(5) 陳情4件

- (第1号) 社会的セーフティネットの充実に関する陳情
 (第2号) 農業農村整備事業予算に係る予算措置を求める意見書の提出に関する陳情
 (第3号) 選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する陳情
 (第4号) 永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する陳情

陳情第1号と第2号は全員賛成で、第3号と第4号は賛成多数で採択された。**小暮ひろし**は、(第3号)(第4号)を審査し賛成しました。